

こりゃ
悪夢だぜ

できるモンなら、
ヤッテみな!



ジョン・トラボルタ



カースティ・アレイ



リトル★ダイナマイツ

ベイビートークTOO

もっとベイベーを
作ろうヨ!

パパは失業! ママは怒って離婚騒ぎ! おまけにジューリーは“悪夢”のような妹...

でも、マイキー最大の悩みは、ひとりでウンチすること



もう、バ★ク★ハ★ツ★寸前!

〈声の出演〉ブルース・ウィリス ロザンヌ・バー デモン・ウェイアンズ

イメージソング“電気とミント”
演奏:PSY・S(サイズ)

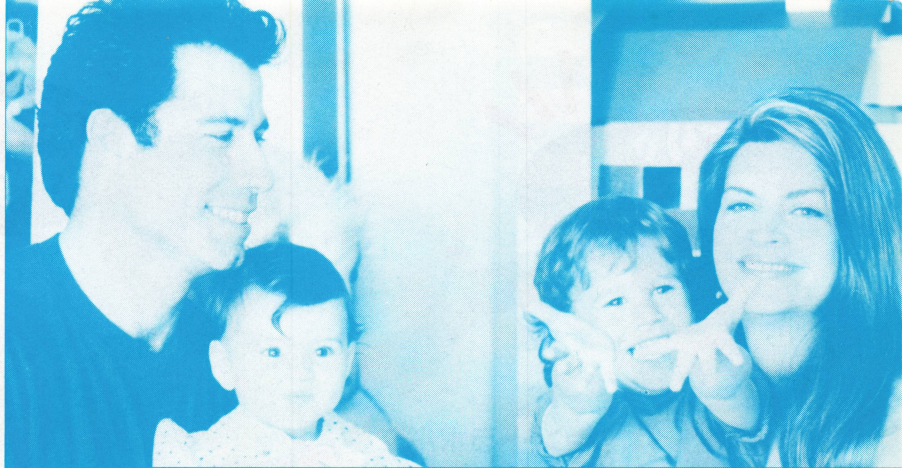


前作「ベイビートーク」よりも
ずっとおもしろい!

新しい「リトル・ダイナマイツ」

ウルフマン調のロケットトーク、ニューハーフ風のスイート・トーク、さらに、「ダイ・ハード・マン」のセルフ・パロディ・トーク……“声優”ブルース・ウィリスが主人公マイキーに扮し、多彩なトークで圧倒。89年クリスマス・シーズンに全米で公開後、全世界で興収3億ドル以上もの大ヒットを記録したブロックバスター・コメディ「ベイビー・トーク」の第2弾「リトル・ダイナマイツ」が早くもやって来た!

大人顔負けのおしゃべりスーパー・ベイビーが、大人の世界を風刺たっぷりに解説し恋のキュービット役までつとめてしまう——奇想天外、珍無類のアイデアがウケにウケた笑いのダイナマイツ。今回、その破壊力を2倍にしたら?と考えたのが、このシリーズの頭のいいスタッフたち。なんと、あのマイキーに続いて、ベイビー・シスターのジュリーをこしらえてしまったのだ!晴れて結ばれたジェームズとモリーのカップル。マイキーの妹ジュリーの誕生。絵にかいたようなモダンなファミリーぶりだったが、ヒョンなトラブルから夫婦の危機が発生。ジェームズが家を出てしまったから大変。大人たちの異変に焦るリトル・ダイナマイツ。彼らのつぶらな瞳に映ったハラハラドキドキの成り行きは——



あのマイキーに妹が誕生。
しかし、その名は
“ナイトメア”(悪夢の)ジュリー。

あれから1年、モリー(カースティ・アレイ)とジェームズ(ジョン・トラボルタ)はめでたく結婚。やがてベイビー誕生。主人公マイキーに妹ジュリーができたのです。生まれる前までは楽しみにしていた妹でしたが、生まれてみれば実にワガママ勝手な性格で、マイキーはイジメられたり、泣かされたり……マイキーのお友達エディにとっても、イタズラ天使というかわんぱく小悪魔というか、全くオソロシイ存在になったのです。そこでつけられた愛称がナイトメア(悪夢の)ジュリー。今回はこのジュリーを中心に新しい物語は展開します。

“ダイ・ハード・マン”
B・ウィリスがマイキーの
“声”に扮して帰ってきた。

見ものは、2,000人からのオーディションを突破して“主役”を演じるローン・サスマン(マイキー役)とミーガン・ミルナー(ジュリー役)の無敵の王様ぶり。この2人の陰の声を、前作に引き続いてのブルース・ウィリスと人気コメディエントのロザンヌ・バー(「シー・デビル」)が担当し、パワーアップした笑いをお届けする。また、黒人ヤング・コメディアン・デーモン・ウェイアンズがエディの声を担当している。

子供たちにテンテコマイする大人たちには、タクシー運転手からパイロットにとらば一ゆするジェームズ役でジョン・トラボルタ。2人目を出産して張り切る“働く元気ママ”モリーにカースティ・アレイ。モリーの母ロージーにオリンピア・デュカキスト、オリジナル・メンバーが再集合。

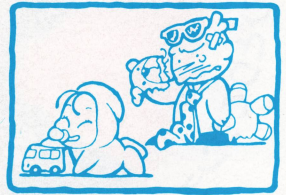
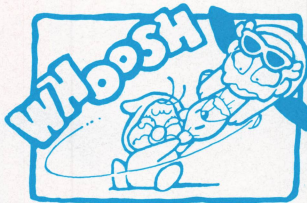
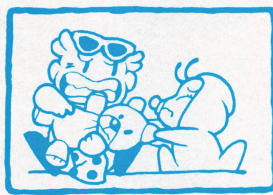
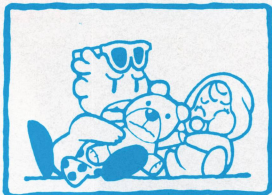
監督・脚本は自らの育児体験をベースに発表した第1作が大当たり。一躍、女流ドル箱監督に躍り出たエイミー・ヘックリング。また、プレスリー・ナンバーなど数々の挿入曲も効果抜群です。

リトル・ダイナマイツ

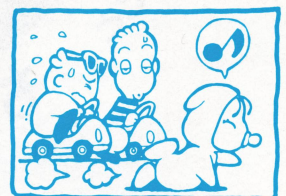
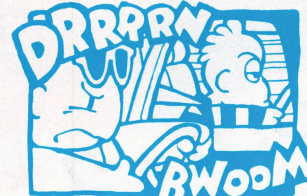
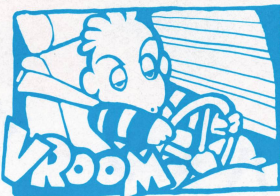
ベイビー・トークTOO

ジュリーの“ナイトメア”ぶりをマンガで紹介。

PART I



PART II



4月13日(土)爆笑ロードショー!

グランドシネマ
西4南9スガイ22-2355

◆特別優待割引券◆
●本券ご持参の方は、当日料金より
■一般 200円 ■高校以下 100円
を割引します。